

令和3年度

全国公立小中学校事務職員研究会岡山支部（岡山県）

第2回研修会 第2部 要項

日 時：令和4年1月24日（月）9：35～

方 法：オンライン（Zoom）

ミーティングID：328 524 5740

ミーティングパスコード：943930

参加時の名前：市町村名 氏 名

1 開 会

2 ワークショップ

(1) 研究部提案

提案者 全事研岡山支部（岡山県）研究部

(2) グループ協議

進 行 全事研岡山支部（岡山県）研究部

3 閉 会

- Zoomに参加中は指示があるまでミュート状態にしてください。 …資料1
- 不具合等が生じた場合はZoomのチャット機能、またはメールでご連絡ください。
メール送付先：kei_takashima@hayashima.gse.okayama-c.ed.jp（総務部長 高嶋）

アンケートにご協力をお願いします。

Google フォームにて、1月31日（月）までにご回答ください。

URL：https://forms.gle/PofzpwG7gzNfzZiNA



全事研岡山支部(岡山県)第2回研修会第2部参加者の皆さんへ

研究部主催のワークショップに申込みを頂きありがとうございます。

オンラインのワークショップは初めての試みです。コロナ禍でなかなか集まる機会がなかったため、対面ではなくても、一緒に研修する場を設けることができると考えました。

さて、ワークショップご参加にあたり、いくつかご準備をお願いいたします。

楽しい研修にしていきたいと考えています。

当日を楽しみにしています。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

全事研岡山支部(岡山県)研究部長 西山由花子

【ワークショップについて準備物&注意事項】

1. 準備物（タブレット・PC・今回ダウンロードするもの以外で用意する物）

- ① 働き方改革をテーマに考えています。その中で以下の内容についてグループで話をする予定です。

自校の学校教育目標、学校経営方針、自校のリソース（ヒト・モノ・カネ・時間・情報）・自校の良い点、自校の課題・取り組みたいことを元に話し合う予定です。メモ用シートも用意していますので、記入できるようだったら事前にご記入ください。

- ② A4白紙コピー用紙（メモに使用します）2～3枚
- ③ サインペン等細すぎず、くっきり見えるペン（プロッキーなど）1本

2. 参加環境及び注意事項

- ① Jamboard（ジャムボード）を使用する予定です。…資料 2-1
岡山県総合教育センターのHP「教育の情報化ユニット研修〈GIGA 端末導入期編〉」には使い方の動画もあります。…資料 2-2
<https://www.pref.okayama.jp/page/683507.html#unit7>

- ② 職員室内等からのご参加の場合
ヘッドホン、マイク等をご使用いただき、室内の他の方の声がきこえないようご配慮ください。
※機器によっては、室内の他の方の声がオンラインの相手の方にも届くことがあります。
十分ご注意ください。

スモールステップを意識した 問題解決に向けて

～第1回研修会ワークシートの事例紹介～

全国公立小中学校事務職員研究会 岡山支部（岡山県） 研究部

<p>見る ・ 知る</p>	<p>・教員のポケットマネーや学級費で教室用の物品を購入している。 ・ベテランは経験に基づき教室環境を整え、若手は現状を当たり前と思っているため、不足することや違いに気がつかない。 ・教務主任「教室に置く物品に特に決まりはない。」</p>
<p>問題</p>	<p>教室で使用する消耗品の整備状況が教室によって大きく異なっている</p>

見聞きした事実

<p>見る ・ 知る</p>	<p>・教員は教室に常備されている物品は何なのか、どのような物品が保管されているか、といったことを把握することが難しく、授業の準備で手間取るなど教育活動に支障が出る可能性がある。 ・子供たちは教室ごとに違うことで、片付けにくく、混乱する可能性がある。 ・保護者は学級間を比較して、学校や担任への不満に繋がる。</p>
<p>問題</p>	<p>教室で使用する消耗品の整備状況が教室によって大きく異なっている</p>

事実から問題点を考える

<p>見る ・ 知る</p>	<p>「アクションプランに掲げる取組の実現のため、統一した整備状況とすることで、授業準備の効率化だけでなく、安心して学習できる教育環境が実現できる」</p>
<p>問題</p>	<p>教室で使用する消耗品の整備状況が教室によって大きく異なっている</p>

問題解決に向けての考えを持つ

- ・望ましい教育環境のあり方について、教職員で協議し、必要な物品のリストアップに取り組む。
- ・物品購入の財源について、事務から具体的な負担区分を提案し、協議する。
- ・共同実施組織では組織内の学校の物品の負担状況について情報交換を行い、組織内の課題について共有理解する。

伝える
・
共有する

考えを伝える、協議・検討する

「事務職員だけの自己完結とにならないように、校内外での連携を図り、課題を共有する。」

- ・予算編成時に初年度の状況を見て、額を固定費として確保する。
- ・共同実施で負担区分の明確化に向けた制度や規定について検討を行い、予算要求において行政区全体の取り組みとして、必要予算の配分を教育委員会に要望する。
- ・必要物品のリスト化、点検による補充や更新の実施計画を作成する。
- ・普段から教員が要望しやすい連絡体制の確立や、職員への周知として掲示物の作成を行う。

動く
・
提案する

解決策の具体を提案し、実行

「ヒト・モノ・カネ・情報・時間のリソースや自校の強みに着目し、具体策を考える。」

- ・今回の行動で学校教育目標の達成に繋がったか。
- ・十分な予算の確保や、保護者負担の適正化について、予算委員会等で検証する。
- ・学校環境整備について、学校評価項目に追加し、保護者の意見を集約する。

振り返る
・
評価する

評価方法の具体を企画する

新たな課題、疑問、問題点から次のサイクルへ

「連携協働とコミュニケーションでマネジメントサイクルを回す事務職員へ」

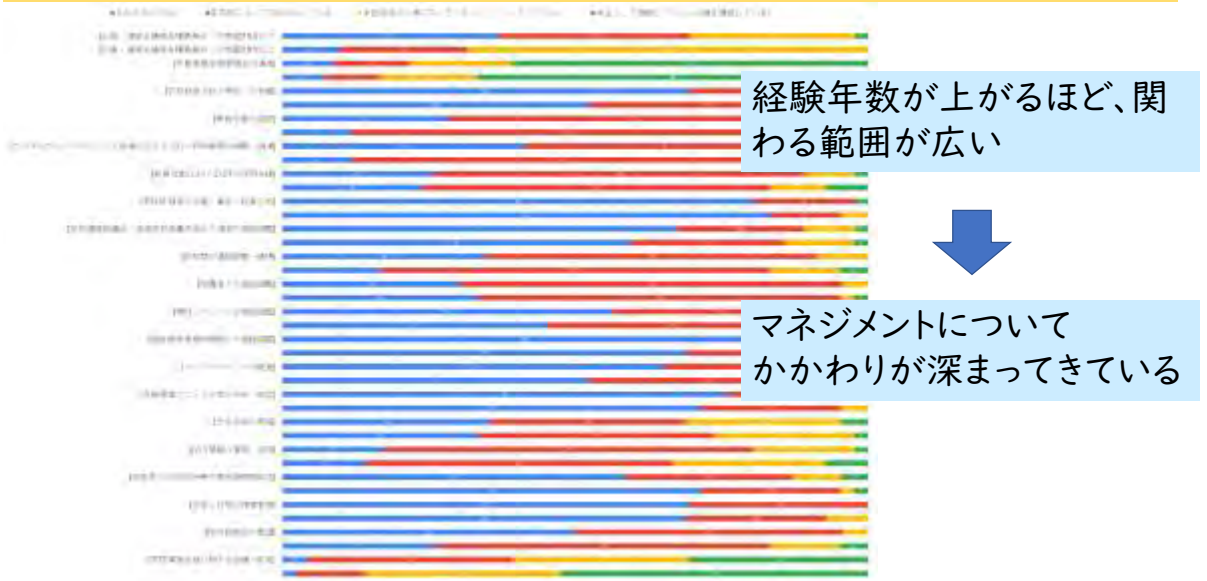
連携アンケートの 報告と提案

全国公立小中学校事務職員研究会 岡山支部（岡山県） 研究部

目 次

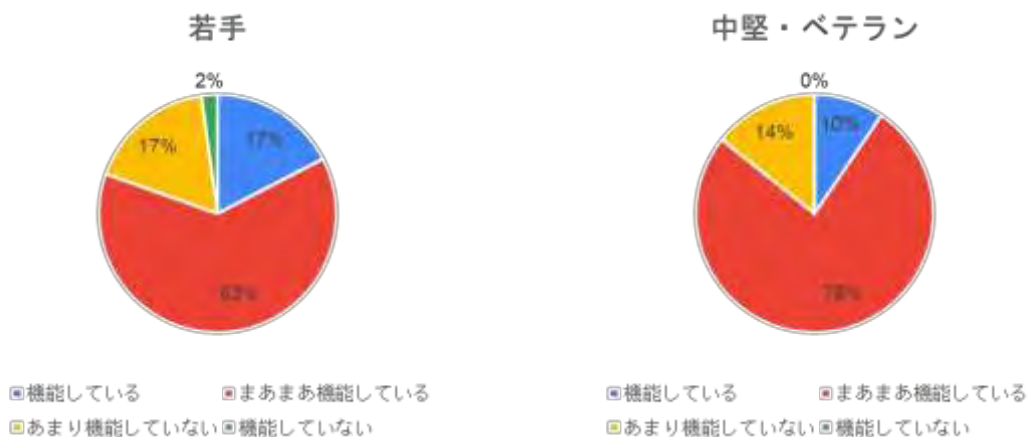
1. 校務運営へのかかわり度合い
2. チーム学校としての機能（機能させるためのポイント）
3. 学校課題解決のための連携相手
4. 躊躇・あきらめ（阻害要因）
5. 若手と中堅・ベテランそれぞれの強みと弱み

1. 校務運営へのかかわり度合い



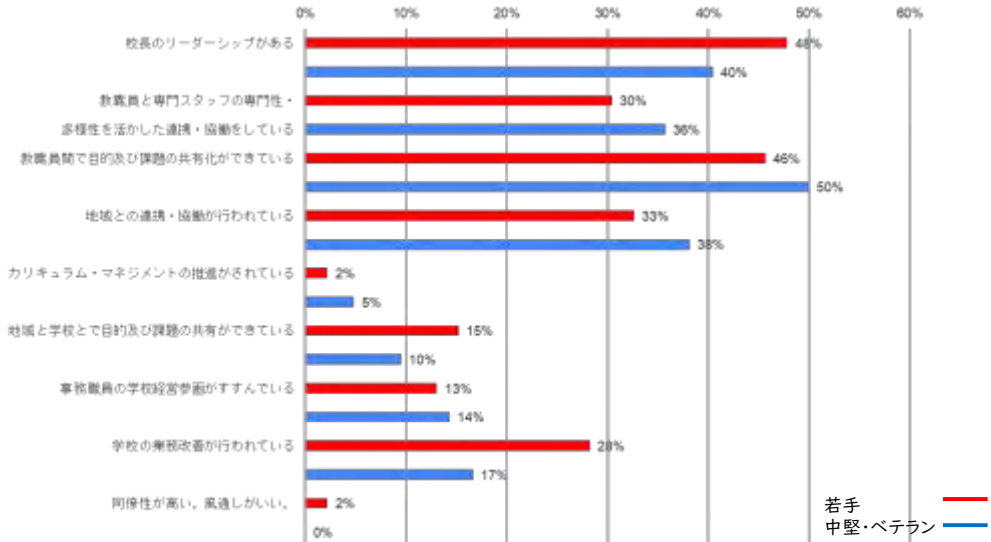
2. チーム学校としての機能（機能させるためのポイント）

あなたの学校はチーム学校として機能していると思いますか

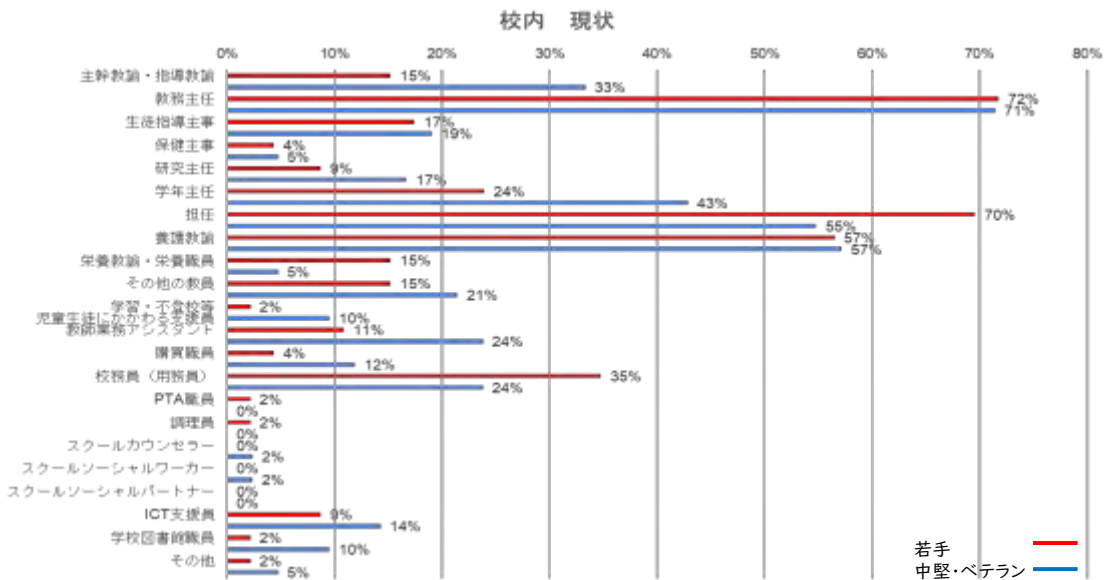


2. チーム学校としての機能（機能させるためのポイント）

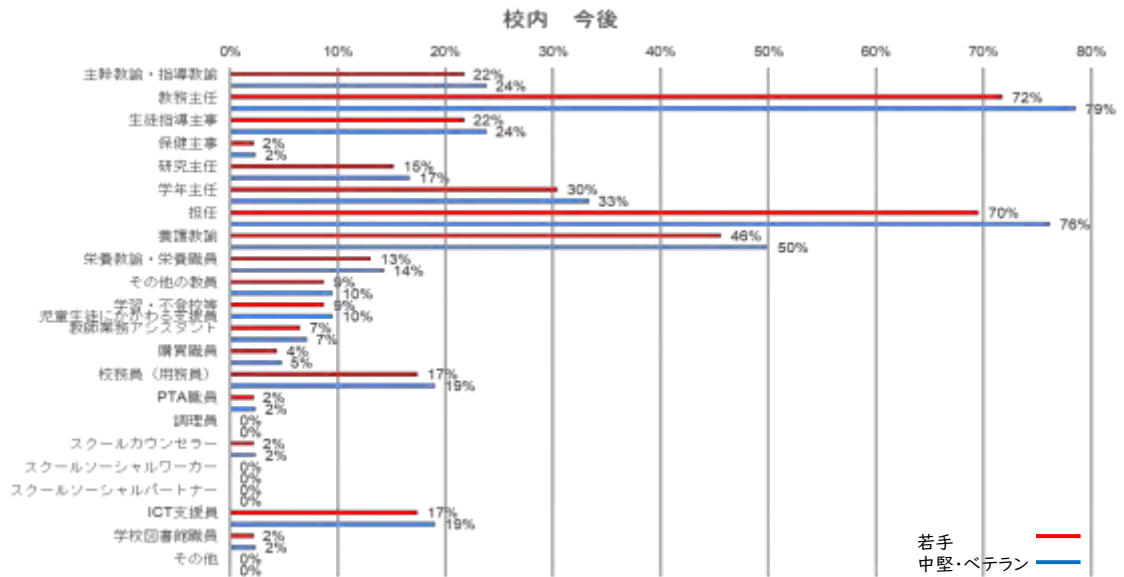
「チーム学校」が機能していると回答した理由に当てはまるもの（複数回答可）



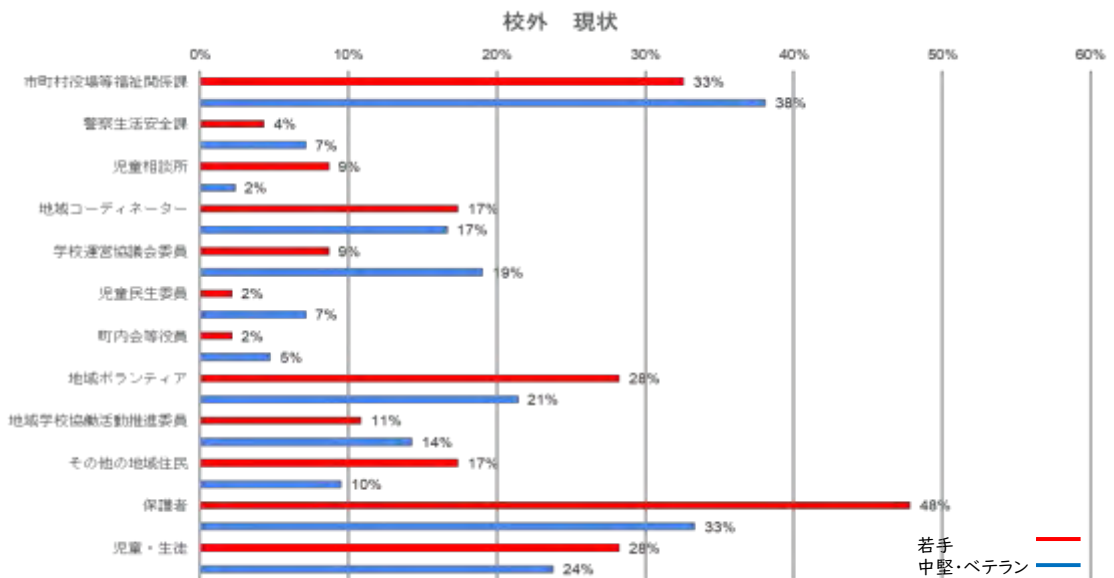
3. 学校課題解決のための連携相手



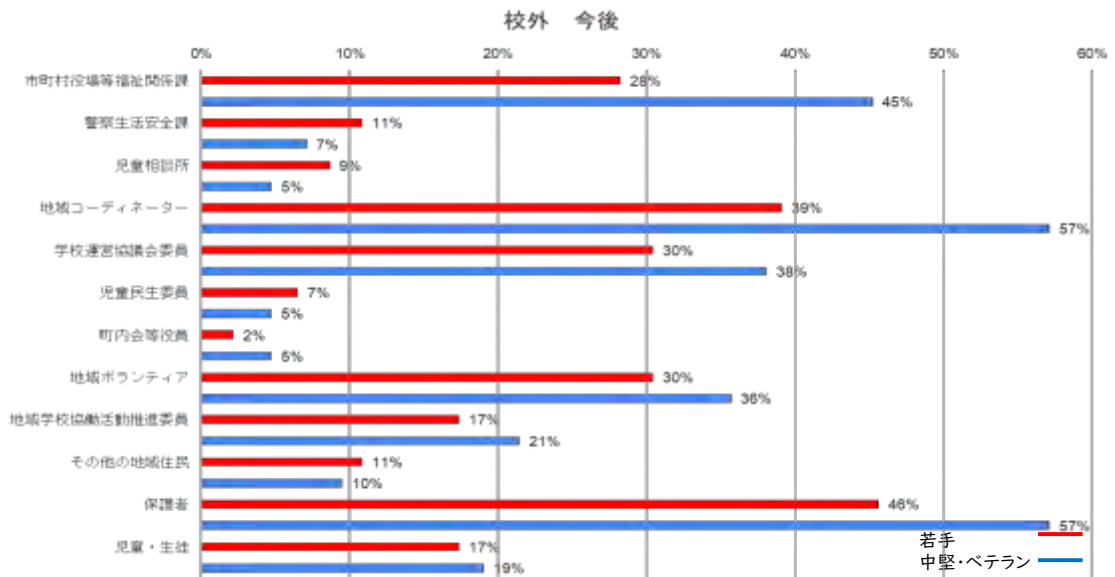
3. 学校課題解決のための連携相手



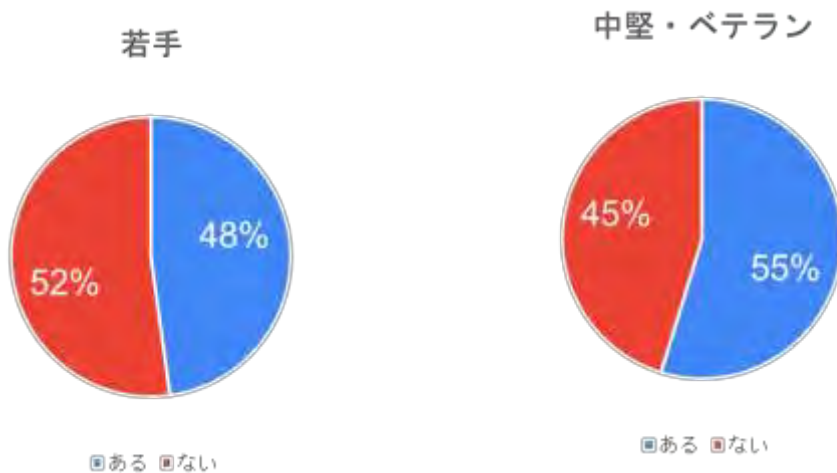
3. 学校課題解決のための連携相手



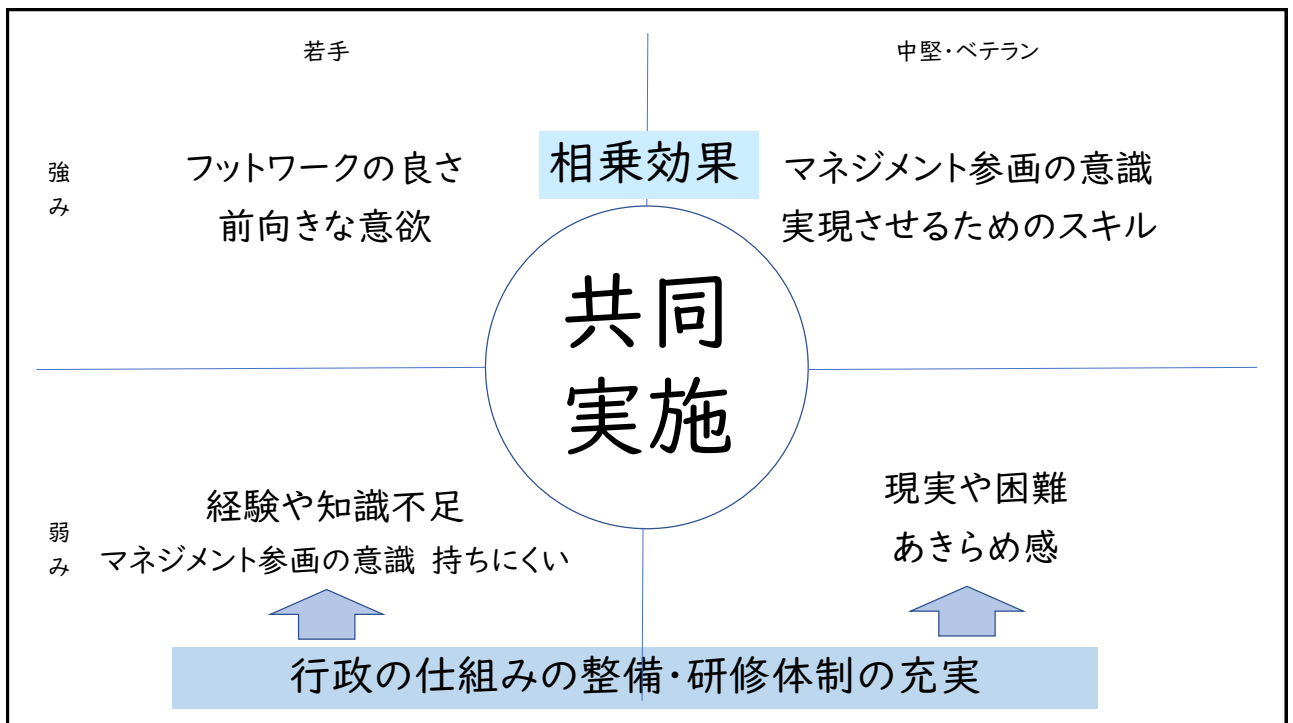
3. 学校課題解決のための連携相手



4. 躊躇・あきらめ（阻害要因）



5. 若手と中堅・ベテラン それぞれの強みと弱み



よりよい学校教育活動

スキルアップ・モチベーションアップ

向上と改善

現在の強みと弱み

学校名 () 名前 ()

<p>学校教育目標</p>	
<p>学校経営方針</p>	
<p>自校のリソース (資源) ヒト・モノ・カネ ・時間・情報</p>	
<p>自校の良い点</p>	
<p>自校の課題 取組みたいこと</p>	

リソースカード

全事研岡山支部（岡山県） 研究部

【ヒントカード】

ヒト

子ども 教職員 保護者 地域
ボランティア 企業 NPO 行政
近隣の小中学校 保育園 高校
大学 経験 年齢 クレマー
部活動支援員 SC SSW SSP
卒業生 民政委員 区長

【ヒントカード】

モノ

施設 教材 消耗品
地域の文化財 伝統文化
名勝 旧跡 遺跡
特産品 昔話 言い伝え
製品 ICT AI 教育課程
備品 修繕

【ヒントカード】

情報

情報源
文書
データ
要確認情報

【ヒントカード】

時間

職員の勤務時間 超過勤務
非常勤講師の勤務時間 割り振り
休暇 職専免 授業時間 放課後
部活動 休憩時間 期日 期間
行事予定 いつまで 経年変化
どれまで時間（期間）をかける

【ヒントカード】

力ネ

公費 私費 寄付
補助金 奨励金
助成金 PTA
後援会費
中・長期計画
就学援助

連携に関するアンケート結果

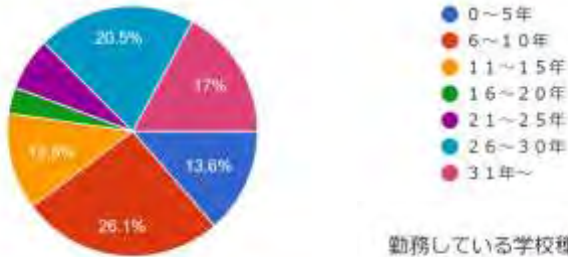
全事研岡山支部（岡山県）研究部 2021. 12. 22時点

回答88件

I あなたについて教えてください。 数値部分のみ 記述部分は省略しています

経験年数を教えてください。

88件の回答



勤務している学校種を教えてください。

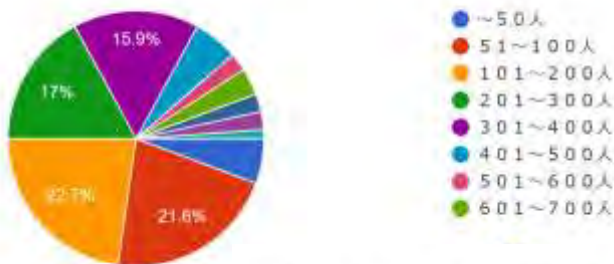
88件の回答



II 勤務校について教えてください。

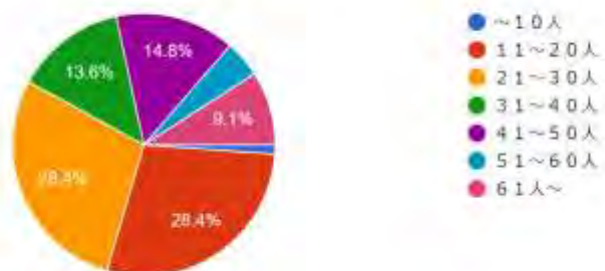
勤務校の児童生徒数を教えてください。

88件の回答



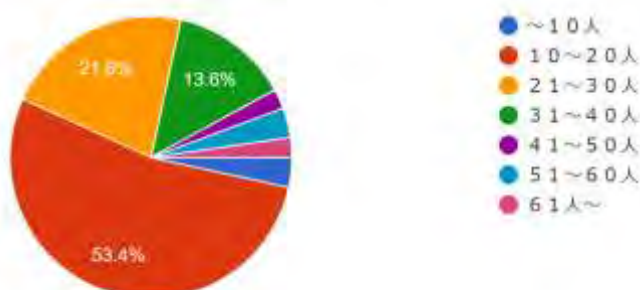
学校に勤務している教職員数を教えてください。

88件の回答



上記のうち、県費常勤教職員数を教えてください。

88件の回答



Ⅲ 次の校務運営にかかわる業務について、あなたのかかわりの度合いを教えてください。

全体

校務運営へのかかわり

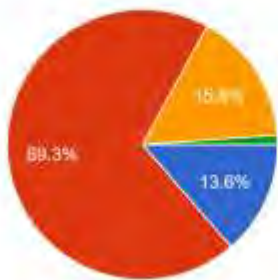
■ 1 かわりがない ■ 2 内容によってはかかわっている ■ 3 担当者の一員になっている（メンバーになっている） ■ 4 主として担当している（会議を運営している）



Ⅳ 学校内外の連携について教えてください。

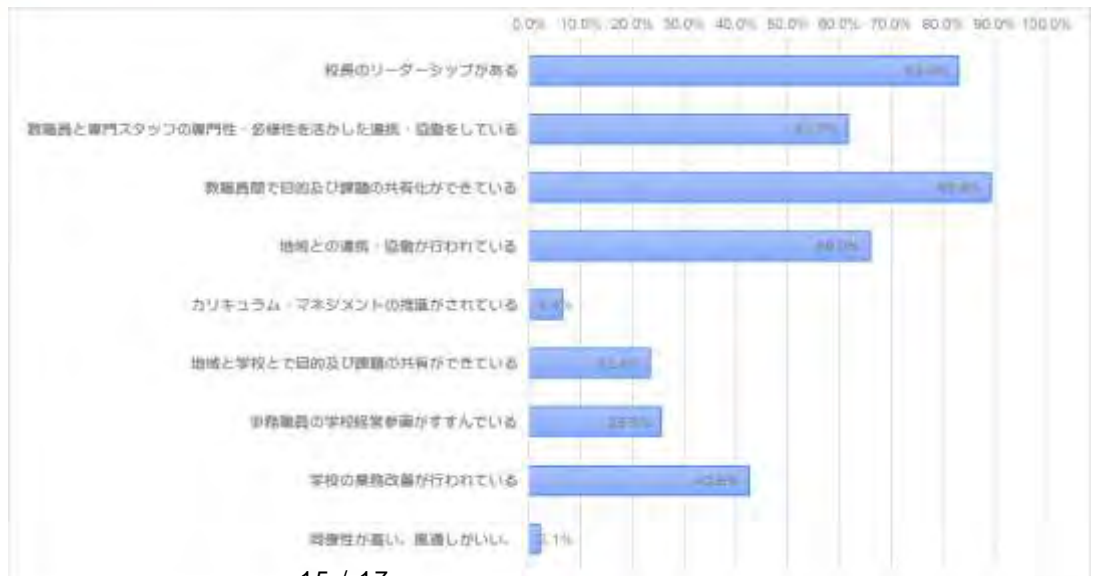
1. あなたの学校はチーム学校として機能していると思いますか？

88件の回答



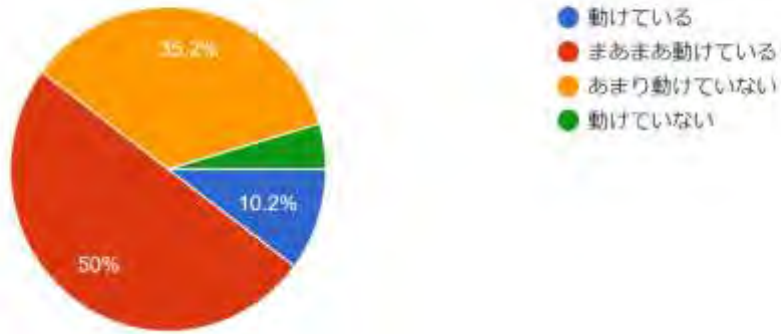
● 機能している
● まあまあ機能している
● あまり機能していない
● 機能していない

2. 上記の質問で「機能している」「まあまあ機能している」と回答した方におたずねします。そう答えた理由に当てはまるものを選んでください。（複数回答可）73件の回答



3 あなたはチーム学校の一員として動いていると思いますか？

88 件の回答



4 令和の日本型学校教育（*2）の実現に向けて、あなたがチーム学校（*2）の一員として実践していることを教えてください。（今回省略 後日）

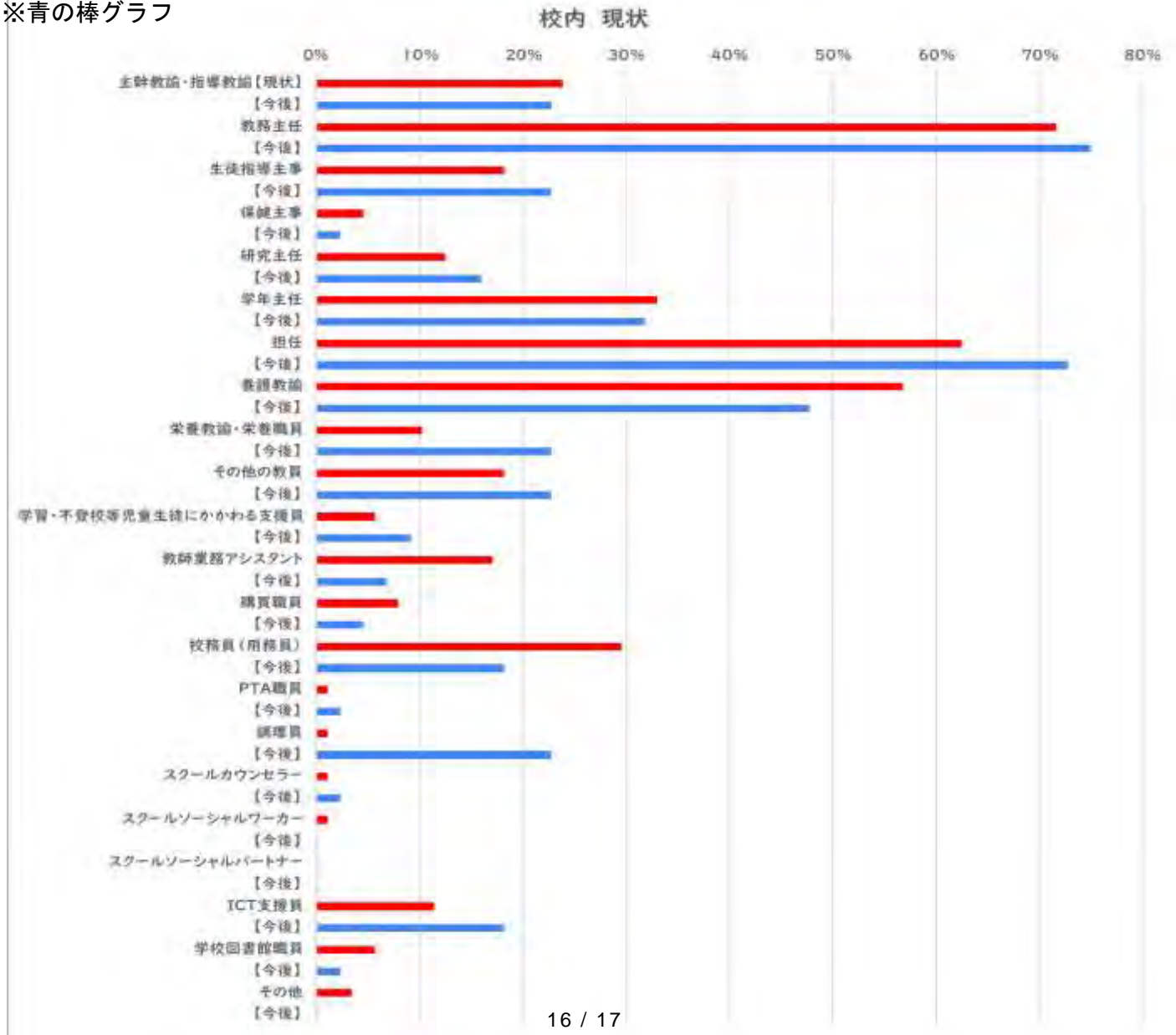
校内の連携

5. 学校が組織として機能していくためには、専門性を持った様々なスタッフが連携して多方面から学校を支える必要があると考えます。総務財務に通じる職種である事務職員も学校内外の人材をマネジメントし、連携をとっていくことが求められます。あなたは、学校の課題を考える際に、校内外の誰と主に連携をとっていますか。（複数回答可 主な連携相手を校内・校外合わせて最大5つまで選択してください）

※赤棒グラフ 現状

6. 組織としてより良いチーム学校になるために、事務職員は特に誰と連携を取るべきだと思いますか？（複数回答可 最大5つまで選択してください）

※青の棒グラフ



校外の連携

5. 学校が組織として機能していくためには、専門性を持った様々なスタッフが連携して多方面から学校を支える必要があると考えます。総務財務に通じる職種である事務職員も学校内外の人材をマネジメントし、連携をとっていくことが求められます。あなたは、学校の課題を考える際に、校内外の誰と主に連携をとっていますか。（複数回答可 主な連携相手を校内・校外合わせて最大5つまで選択してください）

※赤棒グラフ 現状

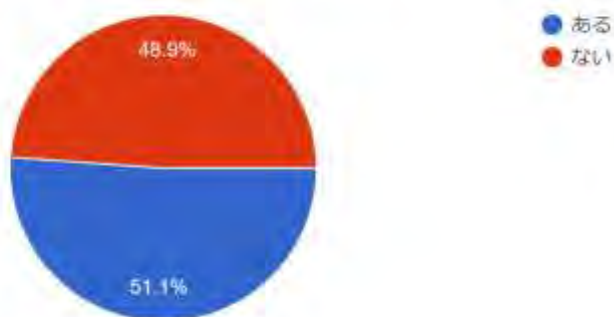
6. 組織としてより良いチーム学校になるために、事務職員は特に誰と連携を取るべきだと思いますか？（複数回答可 最大5つまで選択してください）

※青の棒グラフ



7. 連携を取ろうとしたときに躊躇したり、あきらめたりしたことはありますか？

88件の回答



V 学校の課題に対し「見る・知る→伝える・共有する→動く・提案する→振り返る・評価する」という4つのスモールステップを繰り返すことによって、課題が共有されるとともに目標達成に向けてのマネジメントが機能し、チーム学校の状況が好転していくと考えます。今後、事務職員の行政的な視点・価値観からの提案や連絡調整が必要だと考えます。学校内外の連携をスムーズに進めるために、今後何が大切だと思いますか。理由も含めてご記入下さい。（今回省略）